複合経営／水稲、露地野菜（さといも）／規模拡大・土地利用調整

農地を積極的に受託し、地域農業の活性化に貢献する取組
～おくむらぐみ（岐阜県各務原市）～

経営体の概要

事業実施前：平成８年
基幹作物：ハウス・露地野菜（小松菜）
経営面積：0.3ha

現在：令和５年
基幹作物：水稲、露地野菜（さといも）
経営面積：20ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

● 木曽川の河床低下等により頭首工の機能が低下。

● 都市化・混住化の進行に伴う家庭雑排水の流入やゴミ投棄等により水質が悪化し農作物に被害。

整備前の状況
（羽島用水路）

【現在】

● 国営総合農地防災事業「新濃尾地区」（平成10年度～令和９年度（予定））により頭首工の改修が行われ、安定的に農業用水を取水。

● 国営事業及び県営事業により農業用水と排水の分離が行われ、水質の改善・施設管理の適正化が図られ農業生産の維持と農業経営の安定に資するとともに、国土の保全に貢献。

営農改善、経営転換等のポイント

①単収・品質の向上

国営事業の用排水分離により、水質が改善されたことを契機に、平成16年からさといも栽培を行っている。

また、連作障害（病害虫）を防止するため、水稲とさといものブロックローテーションを実施。

夏季などの乾燥しやすい時期に、さといもへ適切にかん水することにより、単収及び品質の向上を図っている。

②規模拡大・土地利用調整

高齢化が進み担い手の減少、相続後に所有者が分からなくなった農地や耕作放棄地が年々増加する中で、地域の農地の受け皿となるため、利用されていない農地があればJAと連携し、地主に声掛けを行い利用権設定による規模拡大を図っている。

③地域農業の活性化

幼稚園のさつまいも掘りを年１回実施。今後はさといもの収穫体験を検討。おくむらぐみの取組をみて、農業に取り組む若い世代を増やし、地域住民や営農者とのコミュニケーションを図り、地域に貢献。

おくむらぐみの皆様

JAぎふおんさい広場はぐり店（直売所）

JAぎふおんさい広場　さといもの販売

事業概要

事 業 種：国営総合農地防災事業
関係市町：岐阜県岐阜市外２市２町及び
　　　　　愛知県名古屋市外12市５町
受益面積：10,139ha
事業期間：平成10年度～令和９年度（予定）
事業目的：農業用用排水施設の機能回復
主要工事：頭首工改修１箇所　用水路改修 L=32.0km
　　　　　排水路改修 L=27.3km

位置図

新濃尾地区

＜問合せ先＞
東海農政局
農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係
電話：052-223-4638

（令和５年度調査時点）